

S I D R

(滋賀県感染症情報)

SHIGA Infectious Diseases Report

《月報》
平成 22年 4 月
(第13 ~ 17週)

発行年月日：平成22年(2010年) 5月24日
発行：滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター
電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

全国の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。また、届出により全国または滋賀県で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症 類型	疾 病 名	平成 22年				平成 21年 ^{*1}		感染症 類型	疾 病 名	平成 22年				平成 21年 ^{*1}	
		1～3月		4月		1～12月				1～3月		4月		1～12月	
		滋賀県	全 国	滋賀県	全 国	滋賀県	全 国			滋賀県	全 国	滋賀県	全 国	滋賀県	全 国
一類	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	四類	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0		日本紅斑熱	0	5	0	4	0	129
	痘そう	0	0	0	0	0	0		日本脳炎	0	0	0	0	0	3
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0		ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0		Bウイルス病	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0		鼻疽	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0		ブルセラ症	0	0	0	1	0	2
二類	急性灰白髄炎	0	1	0	0	0	0	ベネズエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	
	結核	59	4,956	24	2,343	256	26,932	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	発しんチフス	0	0	0	0	0	0	
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	
	鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0	0	0	0	0	マラリア	0	14	0	7	0	56	
三類	コレラ	0	2	0	0	1	16	野兎病	0	0	0	0	0	0	
	細菌性赤痢	0	37	0	16	0	180	ライム病	0	3	0	0	0	9	
	腸管出血性大腸菌感染症	2	240	1	111	27	3,886	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	
	腸チフス	0	5	0	5	0	29	リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	
	パラチフス	0	5	0	4	0	27	類鼻疽	0	2	0	0	0	0	
四類	E型肝炎	0	18	0	4	1	56	レジオネラ症	0	120	0	43	8	712	
	ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	レプトスピラ症	0	1	0	0	0	16	
	A型肝炎	2	69	0	82	0	115	ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	
	エキノコックス症	0	1	0	1	0	26	五類	アメーバ赤痢	3	187	0	68	10	783
	黄熱	0	0	0	0	0	0		ウイルス性肝炎	0	39	0	17	3	220
	オウム病	0	1	0	1	0	21		急性脳炎	0	70	0	17	8	526
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0		クリプトスポリジウム症	0	1	0	3	0	17
	回帰熱	0	0	0	0	0	0		クロイツフェルト・ヤコブ病	0	32	1	17	2	141
	キャサナル森林病	0	0	0	0	0	0		劇症型溶血性 レンサ球 菌感染症	0	33	0	12	2	105
	Q熱	0	0	0	0	0	2		後天性免疫不全症候群	1	287	0	129	9	1,449
	狂犬病	0	0	0	0	0	0		ジアルジア症	0	16	0	11	0	73
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	2		髄膜炎菌性髄膜炎	0	3	0	0	0	10
	サル痘	0	0	0	0	0	0		先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	2
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0		梅毒	2	123	2	47	3	692
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0		破傷風	0	14	0	10	3	113
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	19	0	9	0	116
	つつが虫病	0	31	0	6	0	465		風しん	1	16	3	16	2	148
	デング熱	0	28	0	13	0	93	麻疹	0	97	0	71	7	739	
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	新型イン フルエン ザ等感染	新型インフルエンザ(H1N1) ^(*)	-	-	-	-	138	12,639
	鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0								

*1 感染症発生動向調査事業年報暫定値(国立感染症研究所感染症情報センター)

(*) : 集計期間は平成21年7月24日～平成21年8月24日、- : 未集計

*1 感染症発生動向調査事業年報暫定値(国立感染症研究所感染症情報センター)

(*) : 集計期間は平成21年7月24日～平成21年8月24日、- : 未集計

滋賀県における全数報告感染症の概要 (4月)

< 結核 > 24名

性別: 男性 13名、女性 11名
類型: 患者 23名

無症状病原体保有者 1名
病型: 肺結核 19名
無症状病原体保有者 1名
その他の結核 4名

< 腸管出血性大腸菌感染症 >

性別: 女性 1名
年齢: 29歳
血清型・毒素型: O157・VT1&VT2

< クロイツフェルト・ヤコブ病 >

女性 80歳
推定感染経路および推定感染地域は不明です。

< 梅毒 > 男性 32歳、42歳

感染経路は異性間性的接触(推定 1名、確定 1名)で、感染地域は日本国内です。また、病型は2名とも早期顕症梅毒です。

< 風しん >

男性 32歳、36歳 女性 21歳
推定感染経路は飛沫・飛沫核感染、接触感染および不明です。推定感染経路は日本国内です。また、ワクチンの接種歴は無しおよび不明です。

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のうち、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症を定点把握対象感染症といいます。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります(疾患により定点数は異なります)。また、疾患によりインフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点および基幹定点に分かれています。

4月の概要

<インフルエンザ>

第13～17週(3/29～5/2)における県全体の定点当たり患者数は0.09～0.44で推移し、先月より半減となっていました。また、彦根保健所管内における第13～14週(3/29～4/11)の定点当たり患者数は、1.86～3.29と多くなっていましたが、第15～17週(4/12～5/2)の定点当たり患者数は、0～0.57と減少していました。

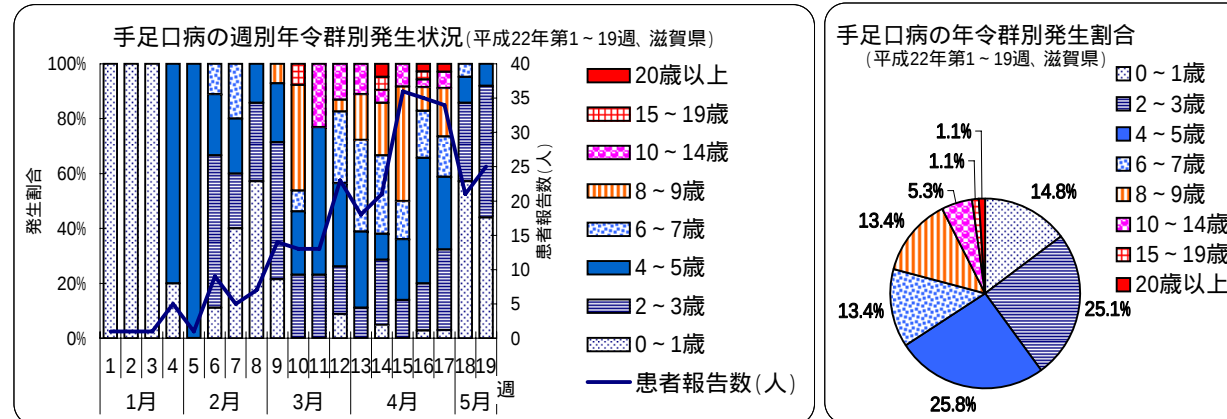
<小児科定点疾患>

先月より増加した疾患は、感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等で、減少した疾患は、RSウイルス感染症およびA群溶レン菌咽頭炎です(他の疾患については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。特に手足口病では、先月に引き続き例年同時期よりかなり多くなっていました。手足口病の年齢群別発生状況は、下記グラフのとおりです。また、水痘では、第13週に東近江保健所管内で、第14週に草津保健所管内で注意報発生基準値(4.00)を超えていました。流行性耳下腺炎では、第16～17週に大津市保健所管内で注意報発生基準値(3.00)を超えていました。

<眼科定点疾患> <基幹定点疾患>

眼科定点疾患である流行性角結膜炎は先月より増加し、急性出血性結膜炎の報告はありませんでした。また、基幹定点疾患では、細菌性髄膜炎は東近江保健所管内から、無菌性髄膜炎およびクラミジア肺炎は大津市保健所管内から報告がありました。マイコプラズマ肺炎の報告はありませんでした。

手足口病の年齢群別発生状況(平成22年第1～19週、H22.1.4～5.16)



平成22年第1～19週におけ3歳以下の発生割合は39.9%、5歳以下の発生割合65.7%となりました。全国における発生割合(第15週現在)は、3歳以下で70.0%以上、5歳以下でほぼ90.0%となっていました。

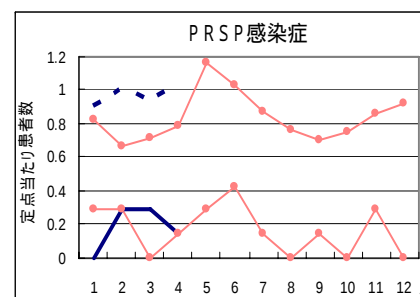
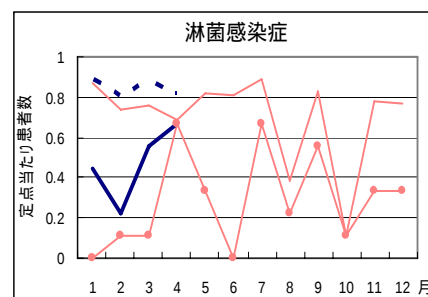
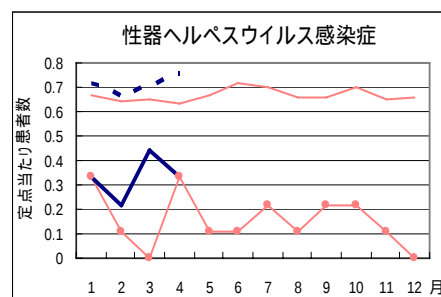
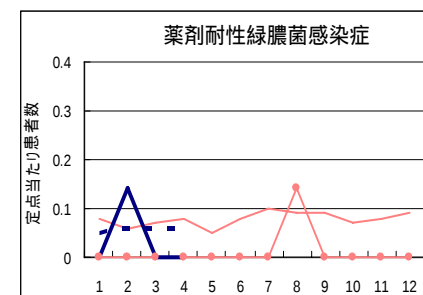
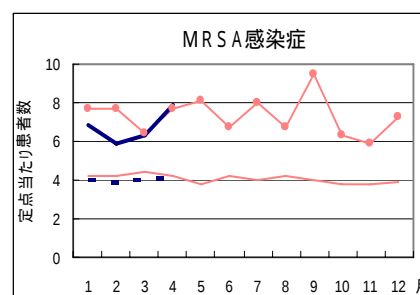
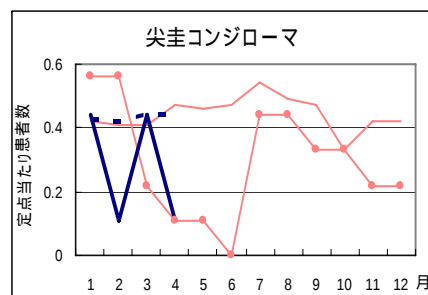
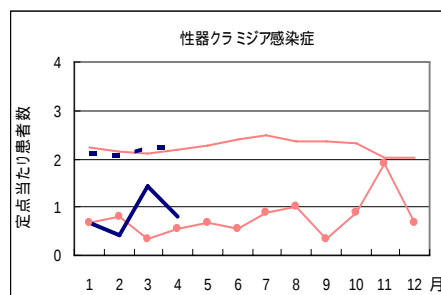
<各定点の対象疾患>

定 点	疾 患 名
インフルエンザ定点	インフルエンザ
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱 A群溶レン菌咽頭炎、水痘 感染性胃腸炎、手足口病 伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳 突発性発しん、ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
眼科定点	急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎
基幹定点	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 クラミジア肺炎(オウム病を除く)

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

3) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成22年4月)

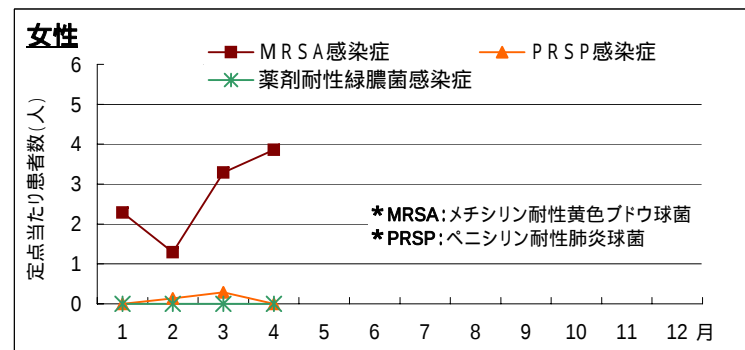
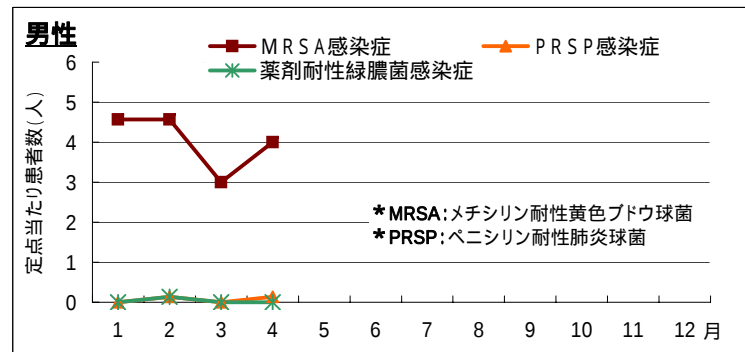
疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
性器クラミジア感染症	罹患数	6	4	13	7									30
	定点当たり	0.67	0.44	1.44	0.78									3.33
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	3	2	4	3									12
	定点当たり	0.33	0.22	0.44	0.33									1.32
尖圭コンジローマ	罹患数	4	1	4	1									10
	定点当たり	0.44	0.11	0.44	0.11									1.10
淋菌感染症	罹患数	4	2	5	6									17
	定点当たり	0.44	0.22	0.56	0.67									1.89
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	罹患数	48	41	44	55									188
	定点当たり	6.86	5.88	6.29	7.86									26.89
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	罹患数	0	2	2	1									5
	定点当たり	0	0.29	0.29	0.14									0.72
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	1	0	0									1
	定点当たり	0	0.14	0	0									0.14



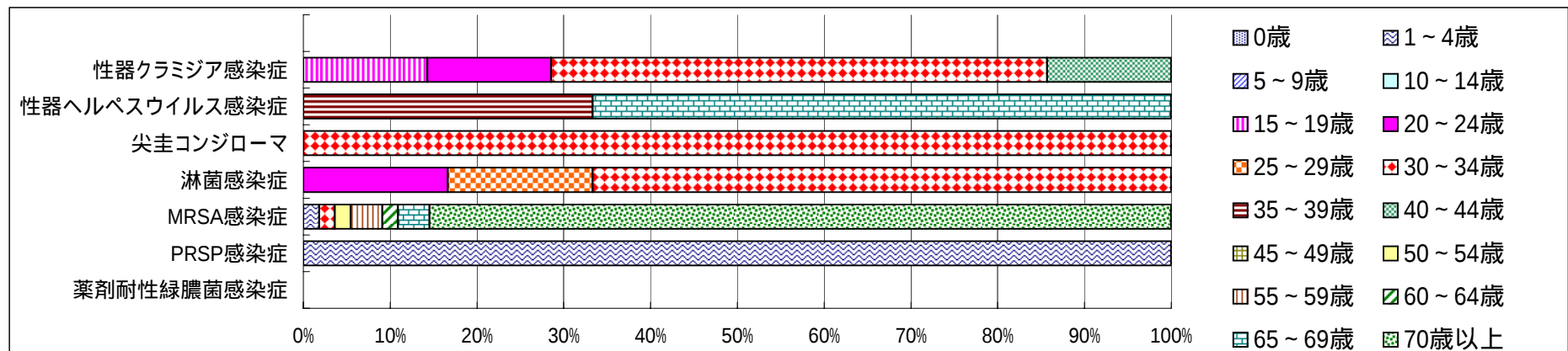
H21 〔 滋賀 〇 全国 — 〕
H22 〔 滋賀 — 全国 …… 〕
MRSA: メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
PRSP: ペニシリン耐性肺炎球菌

性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況を先月と比較すると、増加した疾患は淋菌感染症およびMRSA感染症で、その他の疾患は先月より減少しています。特に、性器クラミジア感染症および尖圭コンジローマでは、大幅に減少しています。薬剤耐性緑膿菌感染症の報告はありません。

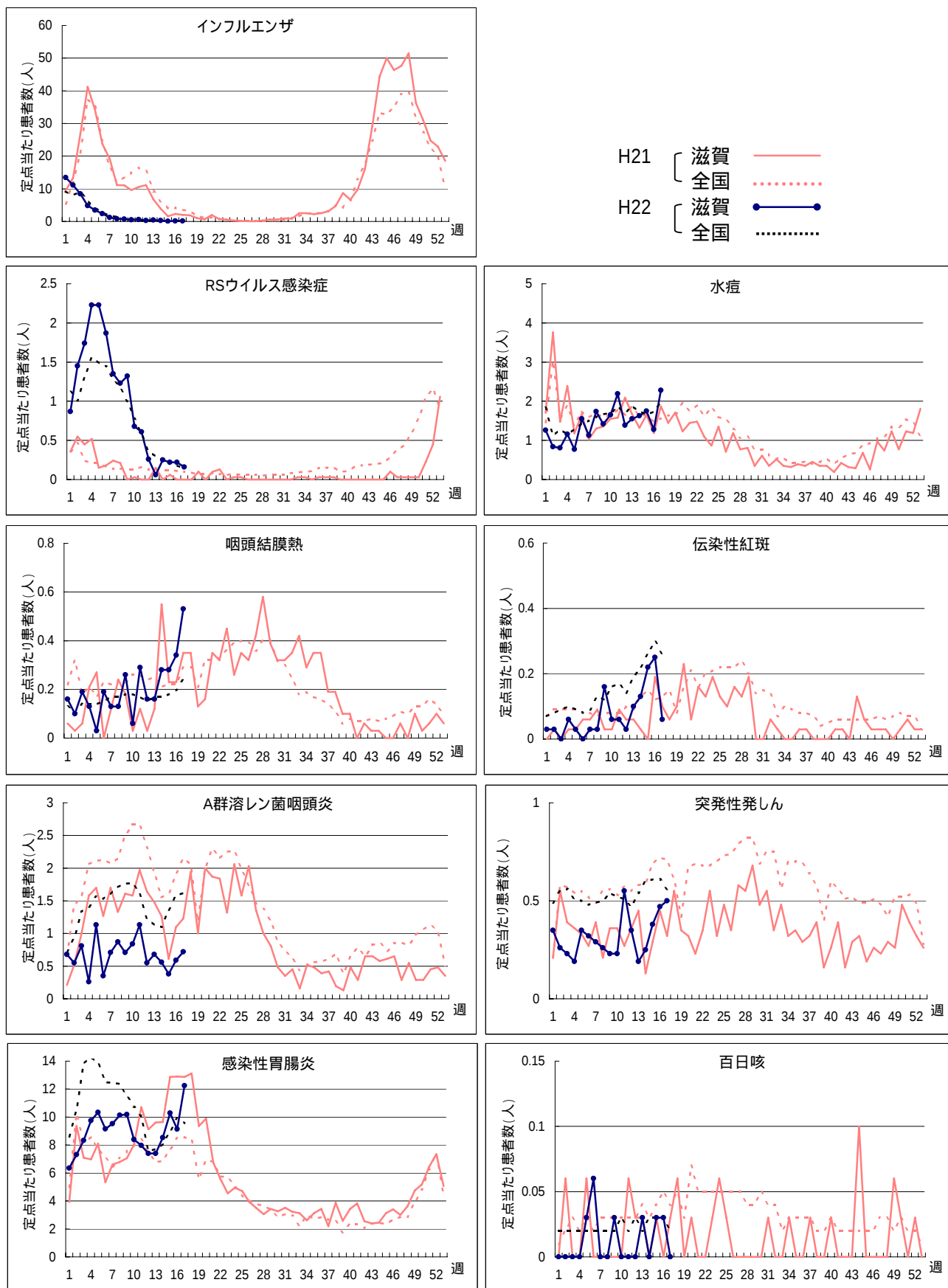
基幹定点における疾患別発生状況
(H22.4)



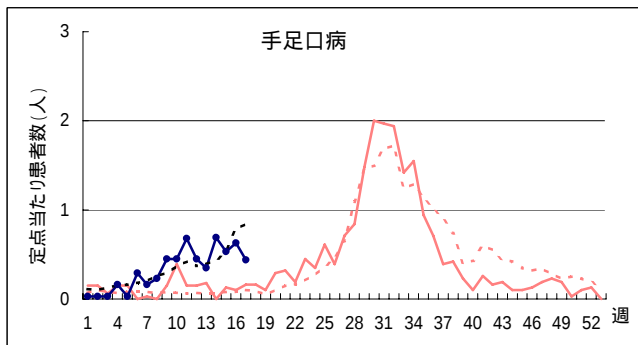
疾患別・年齢別発生状況 (H22.4)



疾病別定点当たり患者数(平成22年第1～17週、H22.1.4～H22.5.2)



疾病別定点当たり患者数(平成22年第 1 ～ 17 週、H22.1.4～H22.5.2)



H21 { 滋賀 (solid red line)
全国 (dotted red line)
H22 { 滋賀 (solid blue line with dots)
全国 (dotted black line)

